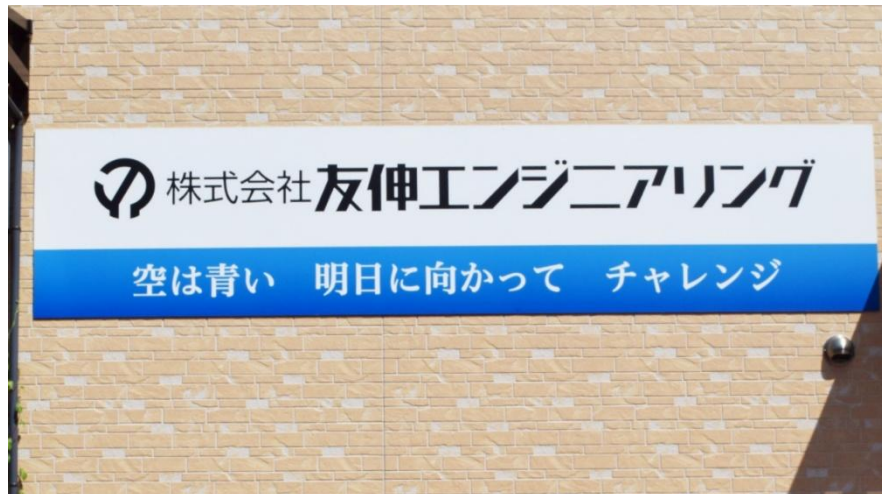


新しいものにチャレンジし、テレワーク時代に適応

2020 年 09 月 01 日 | 株式会社友伸エンジニアリング



株式会社友伸エンジニアリングは、これまで原価管理・スケジュール管理・社内 SNS 等の IT ツールを導入していましたが、改善できるところはないかと常に探していました。今回、独立行政法人中小企業基盤整備機構（以下、中小機構）が実施する「IT 経営簡易診断」の支援により、それらの有効利用や工場の稼働率・人員のスケジュールの見える化が実現され、在宅勤務にも速やかに対応することができました。

※IT 経営簡易診断とは・・・？

中小機構がご提案する、自社の IT 経営をチェック&見える化する簡易診断サービスです。

専門家との 3 回の面談を通して経営課題・業務課題を整理し、IT 活用の可能性を無料でご提案します。

（※本事業は既に終了しており、後継の事業は IT 経営サポートセンターです）



総務部：塩谷朋之さん

弊社は制御盤をメインに高圧低圧の配電盤、産業用分電盤、監視制御装置を自社で設計・開発・製造する会社です。利用用途としては、電気的な制御を必要とする大型プラント、ダムの水門、ビルの空調、遊園地のアトラクションなど多岐にわたります。創業当時から 50 年間「できないと言わない」という経営理念のもとに、お客様のご依頼に合わせて完全受注生産で製造を続けています。

【課題】既存の IT ツールが有効利用されておらず、効率化を検討していた

日頃から、顧客情報の引継ぎや見積の作成など、時間のかかる作業を効率化したいと感じていました。すでに IT 化されている部分もありましたが、プロの目線で改めて見ていただきたいという考えに至り、IT 経営簡易診断の支援を活用しました。企業支援に力を入れておられる多摩信用金庫さんから、中小機構の IT 経営簡易診断を活用してはどうかご紹介いただいたこともあり、お願いすることとなりました。無料で受けられる事も利用を決めた理由のひとつです。弊社が課題と考えていたのは、7 年前に導入した製造業に特化した原価管理システムとスケジュール管理システムの有効活用です。同時に社内 SNS として利用していた「セールスフォース」の稼働も非効率であったため、その活用術も求めていました。

【導入】新しいものを取り入れる社風から、すぐに導入を決意

IT 経営簡易診断では、チームで業務を改善するために情報を共有するプロジェクトマネジメントツールを幾つか提案していただきました。加えて建築業界では各現場を管理するという手法をとっており、弊社にとってはこのような形で、IT を活用しながら製品ごとに管理を行う方が適しているのではないかと提案をいただきました。新しいものを取り入れていこうという社風もあったため、すぐにこの手法を導入することにしました。その後の運用方法までご教示いただけたことは、現在でも財産になっています。また、IT 以外の視点でも経営に関する診断とアドバイスがあったのが有難かったです。



【効果】IT の有効利用で業務が円滑に

製品ごとに管理を行うという手法を強化しスケジュール管理がしっかりできるようになったことで、既存のシステムを使いながら工場の稼働率や人員のスケジュールが見える化されました。この結果、作業の割り振りが簡単になったことに加え、明確な納期をお客様へご提示できるようになりました。また、レポートや日報の入力は「セールスフォース」で行うように変更しました。紙媒体でのやり取りでは社内での情報共有に時間がかかっていましたが、「セールスフォース」のチャット機能を利用してからは情報共有をスムーズに行えています。診断後すぐに新型コロナの問題がでてきましたが、情報共有の課題をクリアしていたため、在宅勤務に速やかに対応することができました。

【展望】変化を恐れず、時代に合わせた企業像へ

IT 経営簡易診断を受けて、業務を整理することの必要性を再認識できたことが大きかったです。今後は顧客管理や在庫管理をはじめとして、今までやっていなかったことにチャレンジしていきたいと思っています。既存の IT システムを活用しつつ、今回採用した製品ごとの管理手法以外にも、既存の在庫管理システムの改良のために検討している IT ツールがあります。社員の幅広い年齢層を考えながらも、若い世代に引き継ぐことを見据えて、時代に合わせた様々な業務形態に対応できる会社でありたいと考えています。

社名： 株式会社友伸エンジニアリング

HP： <http://www.yushin.co.jp/index.html>

代表：代表取締役社長 田村睦男

主な事業：電気・計装盤類の設計、製作

所在地：東京都府中市是政 2-16-23

従業員数：146 名

設立：1971 年 4 月



ここからアプリの事例ページはこちら